

飯舘 百景

いいたて春爛漫



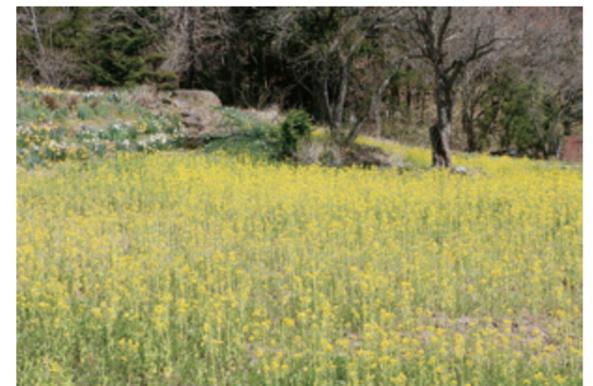
白い花がやさしく風に揺れる
「飯舘復興の桜」の並木



「村民の森あいの沢」のミズバショウ



はやま湖に映える「大倉の桜」



村内各所に菜の花畑。写真は三坂光一さん（白石）宅

2月、3月の暖かな陽気が季節を後押し。桜前線が、記録的な早さで日本列島を北上し、4月を迎える頃には、村内でも春の花が一気に咲き進みました。

會田征男さん・ツタ枝さん夫婦（伊丹沢）が自宅周りに植えた約3000本の桜「飯舘復興の桜」も、4月中旬には満開を迎えました。新型コロナウイルスの影響で「さくらまつり」は2年連続見

送られましたが、桜が咲くと多くの人が連れ立って、この桜に会いにやってきました。震災後、全国各地からボランティアで桜の手入れに来てくれた人たちは、2人を「じいじ、ばあば」と呼んで慕い、自分の実家のように今も訪ねて来るそうです。

また、はやま湖畔の「大倉の桜」や大雷神社の桜並木も、それぞれの地域に春を告げました。明るい黄色の水仙、鮮やかなレンギョウ、ピンクの濃淡が美しいモモの花など、家々の庭も春に彩られ、山あいのせせらぎには、ミズバショウも数多く咲いていました。

その後は寒の戻りもあり、満開の桜に雪が降り掛かった日も。飯舘の春は、表情豊かに過ぎていきました。